Pioneer sound.vision.soul

コンパクトディスクプレーヤー

CDJ-1000MK3

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

目　次

ご使用の前に

仕　様 2
オペレーションガイド 3
安全上のご注意 4
設置上のご注意 6
本機で再生できるディスクについて 7
接続のしかた 8
各部の名称とはたらき 10

基本操作

ディスクの入れ方・出し方 13
DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編 14
　オートキュー機能 14
　再生を始めるには 14
　再生を終了するには 14
　再生を一時停止するには 14
　早送り／早戻しをするには 14
　スキップするには 15
　フォルダーサーチするには(MP3のみ) 15
　キューポイントの設定 15
　再生スピードを変えるには 16
　マスターテンポをかける 16
　ジョグダイヤルの機能 16
　ジョグフィーリング調整機能 16
　違う曲どうしをミックスする(つなぎ) 17
　WAVE表示について 17
　TEXT表示について 17

応用操作

応用操作編 18
　スクラッチプレイをするには 18
　スピンをするには 18
　ブレーキをするには 18
　ループ再生をするには 18
　ホットキューをするには 19
　リバース再生をするには 19
　フェーダースタートプレイについて 19
　2台のプレーヤーを使ったリレープレイ 19
メモリーカードを使った操作 20
　メモリーカードに記憶するには 20
　記憶した内容の呼び出し 21
　メモリーカードに記憶した内容を消去するには 21
　メモリーカードを複製する 21
　キュー、ループポイント登録時の表示 21

その他

故障？ちょっと調べてください 22
保証とアフターサービスについて 23
ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 裏表紙

仕　様

1. 一般

形式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク ..... コンパクトディスク
電源 ..... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 ..... 24 W
動作温度 ..... +5 ℃～+35 ℃
動作湿度 ..... 5 %～85 %(結露のないこと)
質量(重量) ..... 4.2 kg
最大外形寸法
..... 320(幅)×370(奥行)×105(高さ)mm

2. オーディオ部

周波数特性 ..... 4 Hz ～ 20 kHz
SN比 ..... 115 dB 以上(JEITA)
歪率 ..... 0.006 %(JEITA)

3. 付属品

- 電源コード 1
- オーディオケーブル 1
- コントロールコード 1
- 強制イジェクトピン(本体底面に装着) 1
- SDメモリーカード 1
- 取扱説明書 1
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、DJ用アナログプレーヤー以上の操作性／音質／機能を備えたDJ向けCDプレーヤーです。

JOG DIAL

アナログターンテーブルを超える操作感覚を実現する直径206 mmの大型ダイヤル

● PITCH BEND
ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

● SCRATCH PLAY
VINYLモード時にジョグダイヤルの天面を押すと再生が停止し、ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに応じて再生します。また、ジョグダイヤルへのタッチ／リリース時の立ち上がりを調整することができ、新しいDJテクニックを可能にします。

● FRAME SEARCH
ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム(1/75秒)単位でポーズ位置を移動できます。

● SUPER FAST SEARCH
マニュアルサーチボタンまたはトラックサーチボタンまたはフォルダーサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチ、フォルダーサーチより速いサーチができます。

● JOG ADJUST
ジョグダイヤルの回転時の負荷を調整することができます。

ON JOG DISPLAY

ジョグダイヤル中央部に、ディスクの動作状態の表示、キューポイントの位置表示、音声メモリー状態表示、ジョグタッチ検出表示、VINYLモード表示などを行います。

WAVE DISPLAY

アナログレコードならばレコード面の溝を見て曲のブレイクを探し、ミックスポイントやエンドポイントに使用していたように、曲のブレイク部分を先行して表示しますので、ブレイクポイントを予測して、操作できます。

CUE/LOOP MEMORY

本機はディスクごとのキューポイントやループポイントを、SDメモリーカードやマルチメディアカード(MMC)に記憶でき、ディスクに合わせて呼び出すことができます。

HOT CUE

あらかじめ3つまでのホットキューポイント(A、B、C)を設定しておくことにより、瞬時にそのポイントから再生できます。
ホットキューはキューポイントだけでなくループポイントも登録することができます。

REVERSE PLAY

ディレクション切換レバーを手前(REV位置)にすると逆方向に再生します。

TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ100 mmの高性能スライダー
0.02 %単位(±6 %レンジ)のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

● TEMPO CONTROL RANGE
最大可変範囲が±6 %、±10 %、±16 %、WIDEの4段階に設定できます。

● TEMPO CONTROL RESET
スライダーの位置にかかわらずテンポを0 %にすることができます。

● MASTER TEMPO
曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

CUE

● BACK CUE
キューポイントをメモリーして音出しした後キューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

● AUTO CUE
曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

● CUE POINT SAMPLER
メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループイン・アウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能
ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、様々な可能性が広がります。

PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わる前に警告します。

SLOT IN

トレイを出したり、ドアを開けることなしに直接ディスクを挿入できるので、クイックな頭出しができます。

FADER START

パイオニアのDJミキサー(別売)と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりQUICK STARTやBACK CUEが行えます。

MULTI READ

CD-R、CD-RWディスク(音楽CDフォーマットまたはMP3で記録)の再生が可能です。ただし、ディスク特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズ等により正しく再生できない場合もあります。

MP3 DJ PLAY

CD-ROMに収録されたMP3ファイルをDJ機能を使って再生できます。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警 告

〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔設置〕

● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

〔使用環境〕

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

〔使用方法〕

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注 意

〔設置〕

- 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

〔使用方法〕

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

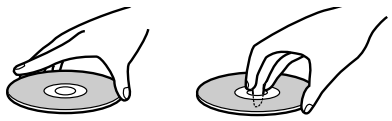
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

〔保守・点検〕

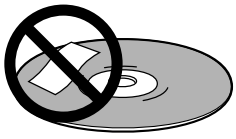
- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ディスクの取り扱いについて

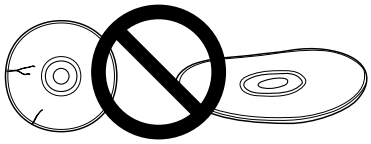
■ 信号面をさわらないようにしてください。



■ レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

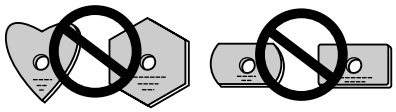


■ 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



■ 特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

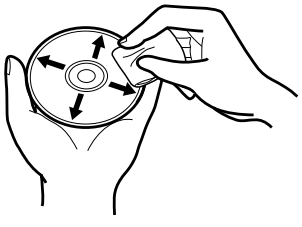


■ ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

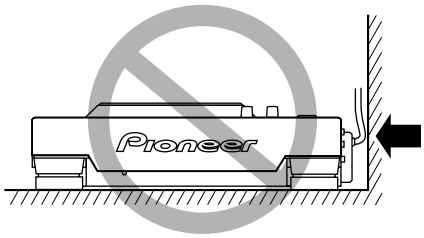
- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
- ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお奨めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
  また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

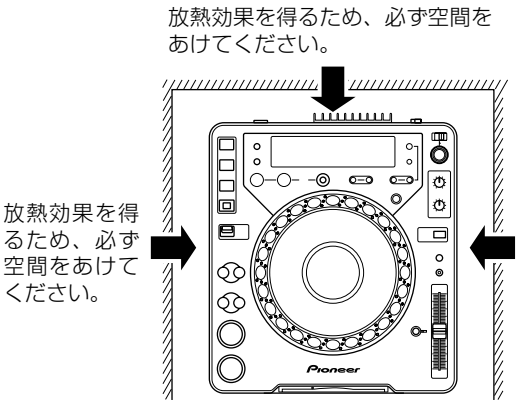


設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近傍で長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。
  また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。





移動について

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。
ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

キャリングケースについて

ジョグダイヤル天面にはスイッチが内蔵されています。
キャリングケースに収納時に、ジョグダイヤルに力が加わらないようにしてください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ (結露) 、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で乾拭してください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「**保証とアフターサービスについて**」(☞P.23)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。
営利的目的での(収益の発生するような)、実際の放送(地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット(企業内ネット)あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム(音楽の有料配信など)のためにはライセンスされておりません。
このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。
詳しくは**http://www.mp3licensing.com** をご参照ください。

IIS
Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG レイヤー 3 によるオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson Multimedia によりライセンス供与されます。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク			
CD	CD-TEXT(注1)	CD-R(注2)	CD-RW(注2)

注1） TEXT表示について
表示できる文字数は48文字までです。16文字を超えるときはスクロール表示になります。アルファベット、数字および一部の記号のみ表示可能です(☞P.17)。

注2） CD-R/CD-RWディスクの再生について
本機は音楽CDフォーマットまたはMP3で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

8 cm CDには、必ず8 cm CDアダプターを取り付けてください(☞P.13)。

ご注意
- レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク(パーシャリーディスク)の再生はできません。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

■ コピーコントロールCDについて
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■ CD-R/RWディスクについて
CD-R/RWディスクは、長時間のポーズ(もしくはキュースタンバイ)状態を続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。また、ループ機能を使用して特定の場所を極端に繰り返し再生した場合も同様の症状になる場合があります。
大切なディスクを使用される場合は、バックアップディスクの作成をお奨めします。

■ 「DualDisc」の再生について
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

MP3再生について

MP3再生を行うためには、下記フォーマットに従っていることが必要です。

MP3 フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、 ビットレート 32 Kbps ～ 320 Kbps に対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、 ビットレート 16 Kbps（ステレオ）～ 160 Kbps に対応しています。
	ID3 タグ	ID3 Ver 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティストを表示します。
Disc フォーマット	ファイル拡張子	.mp3、.MP3、.mP3、.Mp3
	フォルダ階層	最大 8 階層 8 階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
	最大フォルダ数	99（フォルダ 99+ルート 1）
	最大ファイル数	999（1 フォルダにつき）
	CD-R 記録方式	ISO9660 CD-ROM ファイルシステムに従って記録してください。 ディスクアットワンスまたはトラックアットワンスのみ対応しています。 パケットライトは対応していません。

※ ファイルソート機能はありません。ディスクに記録された順で再生します。
※ CD-ROMに記録された、MP3ファイルを再生します。
SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)に記録された、MP3ファイルは再生できません。
※ フォルダー数が多くなるほど、起動時間は遅くなります。

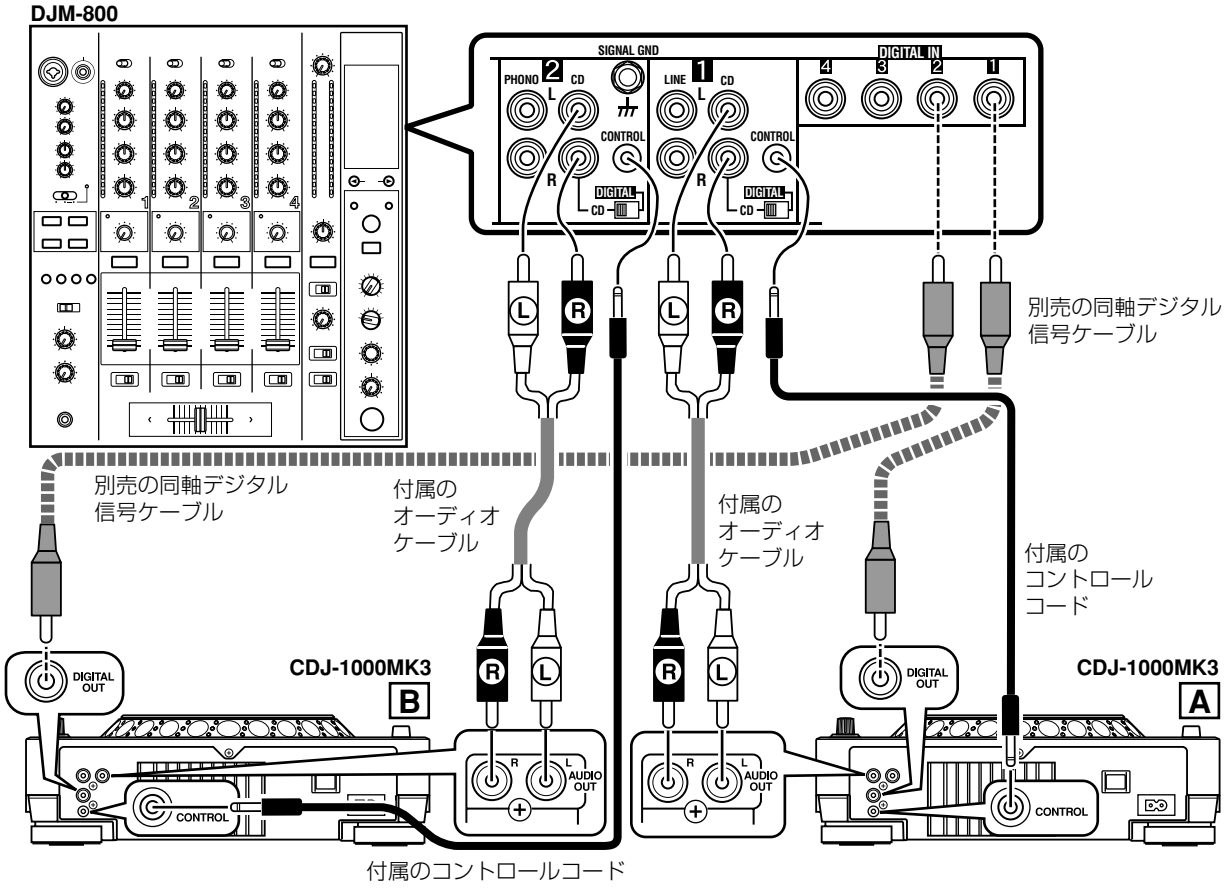
接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

1. パイオニアのDJミキサーとの接続(音声出力およびコントロール端子の接続)

付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。
また、付属のコントロールコードを接続すると、ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。
デジタル入力があるDJミキサー(DJM-800、DJM-1000など)とはデジタル接続が可能です。本機のDIGITAL OUT端子をDJミキサーのDIGITAL入力端子と別売の同軸デジタル信号ケーブルで接続します。

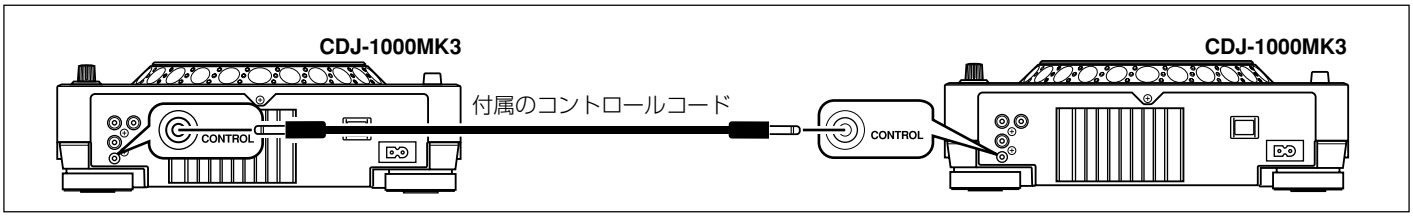
DJM-800と接続する場合



- DJM-1000と接続する場合は、CD/LINEの1つとA PLAYER、別のCD/LINEの1つとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続します。オーディオ信号をデジタル接続するときは、本機のDIGITAL OUTをDJM-1000のチャンネル4～6のDIGITAL入力端子と別売の同軸デジタル信号ケーブルで接続します。
- DJM-600、DJM-300、DJM-500と接続する場合は、CD1とA PLAYER、CD2とB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-909、DJM-707と接続する場合は、CH-1 CDとA PLAYER、CH-2 CDとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-3000と接続する場合はA PLAYERをCH-1のLINE1、B PLAYERをCH-2のLINE3に接続してください。
- その他のオーディオミキサーと接続する場合は、本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続します。(**★ PHONO端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。**)

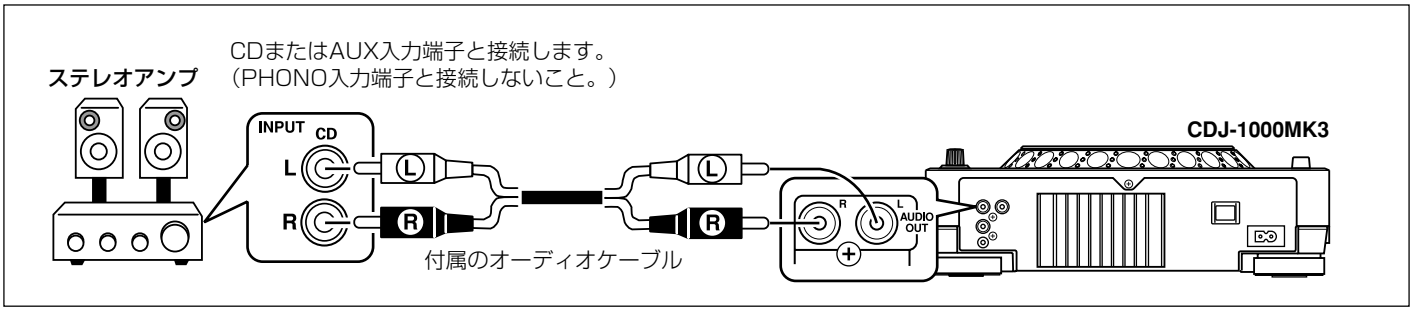
2. リレープレイをする場合のコントロールコードの接続

付属のコントロールコードで2台のDJ用プレーヤーのコントロール端子どうしを接続すると、交互演奏を自動的に行うことができます。(☞P.19)

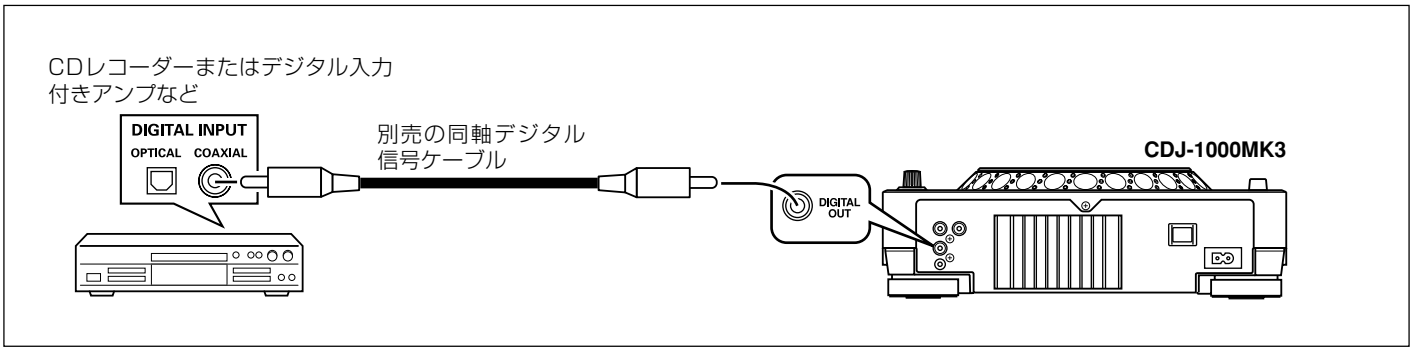


3. その他の機器との接続

Ⓐ ステレオアンプとの接続(DJミキサーを使わない場合)



Ⓑ デジタル入力端子付き機器との接続

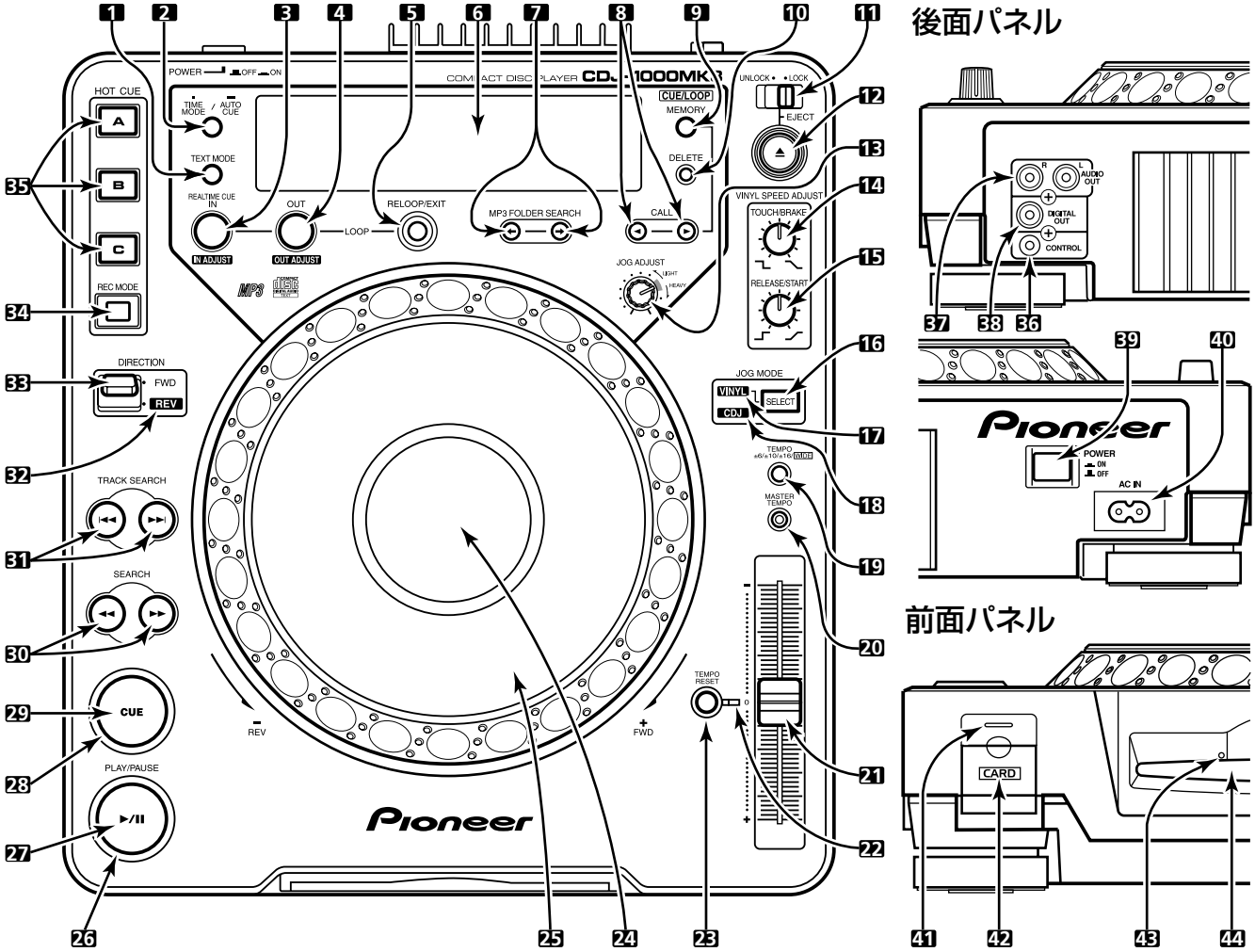


- デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます(CDグラフィックス非対応)。
  CDレコーダーなど接続される機器によっては録音機能等が制限される場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。

4. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、プレーヤー後面にあるACインレットに付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

各部の名称とはたらき



1 表示切換ボタン(TEXT MODE)
押すたびに、WAVE表示とTEXTの曲名／アルバム名／アーティスト名表示を切り換えます。☞P.17
MP3の場合、再生する曲によってはWAVE表示がされない場合があります。

2 タイムモード／オートキューボタン
(TIME MODE/AUTO CUE)
TIME MODE :
押すたびに、表示部の時間表示が現在の再生曲の経過時間と残り時間(**REMAIN**)に切り換わります。
MP3の場合、再生する曲によっては残り時間(REMAIN)がすぐに表示されない場合があります。
● 電源をオフしても、TIME MODEは記憶されます。
AUTO CUE :
1秒以上押し続けるとオートキュー解除／設定を切り換えます。
5秒以上押し続けるとオートキューレベルを切り換えます。☞P.14
● 電源をオフしても、AUTO CUEのオン／オフとオートキューレベルは記憶されます。

3 ループイン／リアルタイムキュー／インポイント修正ボタン／インジケーター
(LOOP IN/REALTIME CUE/IN ADJUST)
リアルタイムキュー ☞P.15
ループインポイント入力 ☞P.18
ループインポイント修正 ☞P.18

4 ループアウト／アウトポイント修正ボタン／インジケーター
(LOOP OUT/OUT ADJUST)
ループアウトポイント入力 ☞P.18
ループアウトポイント修正 ☞P.18

5 リ・ループ／イグジットボタン(RELOOP/EXIT) ☞P.18

6 表示部 ☞P.12‥‥51～66

7 フォルダーサーチボタン(FOLDER SEARCH⬅、➡) ☞P.15
MP-3再生時に、階層構造のCD-ROMのフォルダーを指定方向に送ります。

8 キュー／ループコールボタン
(CUE/LOOP CALL◀、▶) ☞P.21
外部メモリー(メモリーカード装着)に記憶されたキューポイントやループポイントを呼び出します。

9 キュー／ループメモリーボタン
(CUE/LOOP MEMORY) ☞P.20
外部メモリー(メモリーカード装着)に、キューポイントやループポイントを記憶します。

10 キュー／ループデリートボタン
(CUE/LOOP DELETE) ☞P.21
外部メモリー(メモリーカード装着)に記憶された、キューポイントやループポイントを消去します。

11 イジェクトモード切換スイッチ(EJECT UNLOCK/LOCK)
UNLOCK:プレイ中でもボタンを押すと、ディスクをイジェクトします。
LOCK:プレイ中はボタンを押しても、ディスクをイジェクトできません。ポーズ状態にしてから押すと、ディスクをイジェクトできます。

12 イジェクトボタン(EJECT⏏)
ボタンを押すとディスクの回転が止まってから、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
イジェクトモード切換スイッチが「**LOCK**」位置のときは、ポーズ状態にしてからボタンを押さないと、ディスクが出てきません。

13 ジョグフィーリング調整ツマミ(JOG ADJUST)
ジョグダイヤルを回転させるときの負荷(軽い／重い)を好みに合わせて調整します。

14 バイナルモードタッチ／ブレーキ応答調整つまみ
(VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE)
ジョグモード切換スイッチが「VINYL」位置のとき、ジョグダイヤルの天面を押したときおよびプレイ／ポーズボタンを押したときに、再生が止まるまでの減速スピードを調整します。左に回すと素早く止まり、右に回すとゆっくりと減速して止まります。

15 バイナルモードリリース／スタート応答調整つまみ
(VINYL SPEED ADJUST RELEASE/START)
ジョグモード切換スイッチが「VINYL」位置のとき、ジョグダイヤルの天面から手を離したときおよびプレイ／ポーズボタンを押したときに、再生が立ち上がる加速スピードを調整します。左に回すと素早く定速に達し、右に回すとゆっくりと加速して定速になります。

16 ジョグモード切換ボタン(JOG MODE SELECT)
VINYLモード:プレイ中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回転すると回転に応じた音声が出ます。
● 電源をオフしてもジョグモードは記憶されます。
CDJモード:ジョグダイヤルの天面を押しても、上記の動作はしません。

17 VINYLインジケーター
ジョグモードがVINYLモードのとき点灯します。

18 CDJインジケーター
ジョグモードがCDJモードのとき点灯します。

19 テンポコントロールレンジ切換ボタン
(TEMPO ±6/±10/±16/WIDE)
押す度に、テンポ調整つまみの可変範囲(±6 %/±10 %/±16 %/WIDE)が切り換わります。

20 マスターテンポボタン／インジケーター
(MASTER TEMPO) ☞P.16
押すたびにマスターテンポ機能をオン／オフします。

21 テンポ調整つまみ
手前(+)に動かすと演奏テンポが早くなり、奥(−)に動かすと遅くなります。

22 テンポリセットインジケーター
テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ調整が「0」(通常テンポ)になっていることを示します。

23 テンポリセットボタン(TEMPO RESET)
テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ調整を「0」(通常テンポ)にします。もう一度押すと解除されます。

24 ジョグダイヤル表示部 ☞P.12‥‥71〜75

25 ジョグダイヤル(+FWD/−REV) ☞P.16

26 プレイ／ポーズインジケーター
プレイ時に点灯し、ポーズ時に点滅します。

27 プレイ／ポーズボタン(PLAY/PAUSE▶/❚❚) ☞P.14

28 キューインジケーター ☞P.14
キューポイントが設定された状態で、サーチ中以外に点灯します。ポーズ状態で新たなキューポイントの入力ができる状態の時に点滅します。

29 キューボタン(CUE)
【キューポイントの設定】 ☞P.15
【バックキュー】 ☞P.15
【キューポイントサンプラー】 ☞P.15

30 サーチボタン(SEARCH◀◀、▶▶) ☞P.14

31 トラックサーチボタン(TRACK SEARCH|◀◀、▶▶|)☞P.15

32 リバースインジケーター(REV)
ディレクション切換スイッチがリバースのとき点灯します。

33 ディレクション切換スイッチ
(DIRECTION FWD/REV)
REV位置(手前)にするとリバース再生します。☞P.19

34 ホットキュー 記録モードボタン
(HOT CUE REC MODE) ☞P.19
ホットキューボタンの機能(記録／呼び出し)を切り換えます。
● 電源オン時は呼び出しモードです。

35 ホットキューボタン／インジケーター
(HOT CUE A、B、C) ☞P.19
A、B、Cが赤色点灯時はホットキューポイント記録モードです。
A、B、Cが緑色(HOT CUEポイント)または橙色(HOT LOOPポイント)で点灯時は呼び出しモードで、ボタンを押すとホットキューポイントから再生できます。消灯はホットキュートポイントが記録されていない状態です。

後面パネル

36 コントロール端子(CONTROL)
付属のコントロールコードを使って、パイオニアのDJミキサーと接続すると、DJミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。
また、他のDJプレーヤーのコントロール端子と接続して、自動交互再生(リレープレイ)を行うことができます。 ☞P.19

37 オーディオ出力端子(AUDIO OUT L、R)
RCAタイプのアナログオーディオ出力端子です。

38 デジタル出力端子(DIGITAL OUT)
デジタル入力対応のDJミキサーやAVアンプ、CDレコーダーなどを接続する、RCAタイプの同軸デジタル出力端子です。
DJ機能を含めた全ての機能に対応した出力が得られますが、サブコードを含まないオーディオデータのみが出力されます(CDグラフィックス非対応)。

39 電源スイッチ(POWER ■OFF/▂ON)

40 ACインレット
付属の電源コードを使って、壁の電源コンセントと接続します。

前面パネル

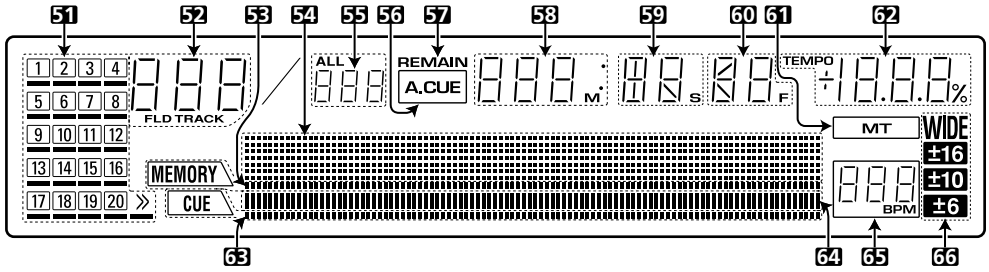
41 メモリーカードインジケーター ☞P.20
メモリーカードが挿入され、ドアが閉じられているときに点灯、メモリーカードへアクセス中は点滅します。
● 点滅中はドアを開けたり、電源を切らないでください。

42 メモリーカードドア&挿入口 ☞P.20

43 強制イジェクトホール ☞P.13

44 ディスク挿入口 ☞P.13

表示部



51 カレンダー表示(1〜20、≫)
再生トラック以降のトラック番号が点灯します。21以降は≫が点灯します。キューポイントやループがメモリーされているトラック番号の下にアンダーバーが点灯します。

52 トラックナンバー表示／フォルダナンバー(TRACK/FLD)
オーディオCD再生時は「**TRACK**」が点灯し、トラックナンバーを2桁表示します(01〜99)。
MP3再生時は「**TRACK**」が点灯し、トラックナンバーを表示します(01〜999)。また、フォルダサーチ中は「**FLD**」が点灯し、フォルダナンバーを2桁表示します(00〜99)。

53 メモリー表示(MEMORY)
選択されたトラックにキューメモリーやループメモリーが登録されているときに「**MEMORY**」が点灯し、その開始位置を表示します。
1ポイントにつき2ドットで表示されますが、同じポイント内に複数の開始位置が登録されていても、表示は1つです。

54 ドットマトリックス表示部(100 x 7ドット)
TEXT表示、WAVE表示、ガイド表示、他を行います。
TEXTは最大48文字まで表示します(16文字以上はスクロール表示)。 ☞P.17
WAVE表示は、1曲をフルスケール(横100ドット)として、再生曲の音楽レベルを表示します。

55 全曲数表示(ALL)
オーディオCD再生時はディスクのトラック数を表示します。
MP3再生時はフォルダ内のトラック数を表示します。

56 オートキュー表示(A.CUE)
オートキューがオンのときに点灯します。

57 リメイン表示(REMAIN)
曲の残り時間であることを示します。

58 時間表示(分)(M)

59 時間表示(秒)(S)

60 フレーム表示(F)
75フレームで1秒です。

61 マスターテンポ表示(MT)
マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

62 演奏速度表示(TEMPO)
テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を表示します。

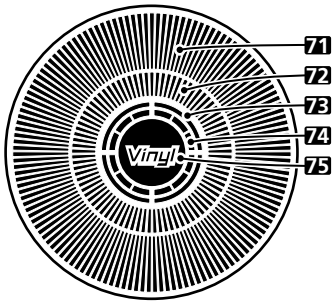
63 キューポイント表示(CUE)
選択されたトラックに、**CUE**ボタン、**LOOP IN**ボタンに登録されたポイントがあるときに「**CUE**」が点灯し、その開始位置を表示します(2ドット点灯)。

64 プレーイングアドレス表示
再生曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲をフルスケールのバーグラフとして表示します。
- 経過時間表示のときは、左から点灯します。
- 残り時間表示のときは、左から消灯します。
- 曲の残り時間が30秒以下になるとゆっくり点滅し、15秒以下になると早く点滅します。

65 BPM表示(0〜360 BPM)
再生中の曲のBPMを表示します(検出範囲70〜180 BPM)。
曲によってはBPMカウンターでBPMを測定できない場合があります。

66 テンポ調整レンジ表示(±6、±10、±16、WIDE)
テンポコントロールレンジ切換ボタンで選んだテンポ調整つまみの可変範囲を示します。

ジョグダイヤル表示部



71 動作表示
一周135フレームとして、プレイ位置を表示します。再生時は回転し、ポーズ中には停止します。

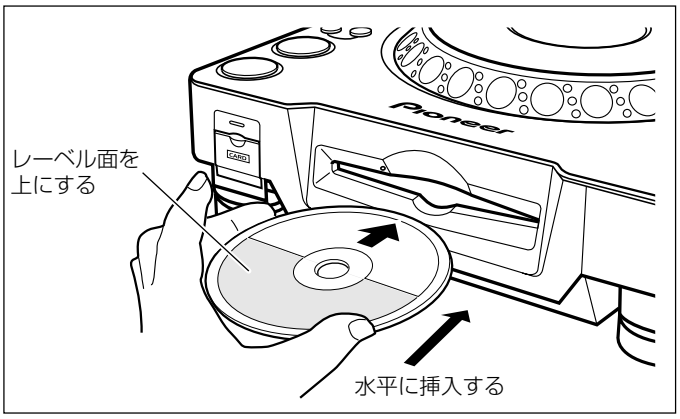
72 キューポイント位置表示
キューポイントの位置を表示します。

73 音声メモリー状態表示
音声メモリー書き込み中は点滅し、十分に書き込まれると点灯します。点滅中は、リアルタイムキューポイントの記憶、ホットキューポイントが記憶できない場合があります。スクラッチにより、メモリー不足になった場合も点滅します。

74 ジョグタッチ検出表示
VINYLモード時、ジョグダイヤル天面を押したときに点灯します。

75 VINYLモード表示(Vinyl)
VINYLモードのときに点灯します。

ディスクの入れ方・出し方



1. 後面の電源スイッチをオンにする。

電源スイッチがオフの状態でディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

2. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
- 8 cmディスクの場合はアダプターを装着してください。

本機はディスクを高速回転することにより、高いパフォーマンスを得ています。アダプターを装着した8 cmディスクの場合、安全のため回転速度が制限されるため、スクラッチ、リバース等の動作スピードが低下することがあります。

- 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
- ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

3. イジェクトモード切換スイッチがUNLOCK位置のときは、EJECTボタン(▲)を押してディスクを取り出す。
イジェクトモード切換スイッチがLOCK位置のときは、再生中にPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押すかまたは、キューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して(バックキュー)からEJECTボタン(▲)を押して、ディスクを取り出す。

- ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。

CDシングル(8 cmディスク)を再生するときのご注意：

① CDシングル(8 cmディスク)を再生するときは、必ず 8 cm CDアダプターを使用してください。CDプレーヤーに挿入する前に、ディスクがツメに正しく装着されていることを必ず確認してください。誤って、アダプターなしで8 cmディスクを挿入したときは、直ちにイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。イジェクトボタンを一度押してもディスクが出てこない場合は、もう一度押してください。

② 8 cmディスク用アダプターは COMPACT DIGITAL AUDIO マークの付いたもの(推奨規格適合品)を使用してください。また、アダプターを装着したときに、ディスクが空回りしやすいものや、反り、ねじれがあるものは使用しないでください。

ご注意：
「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

ディスクの強制イジェクトについて

イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属品のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。
強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

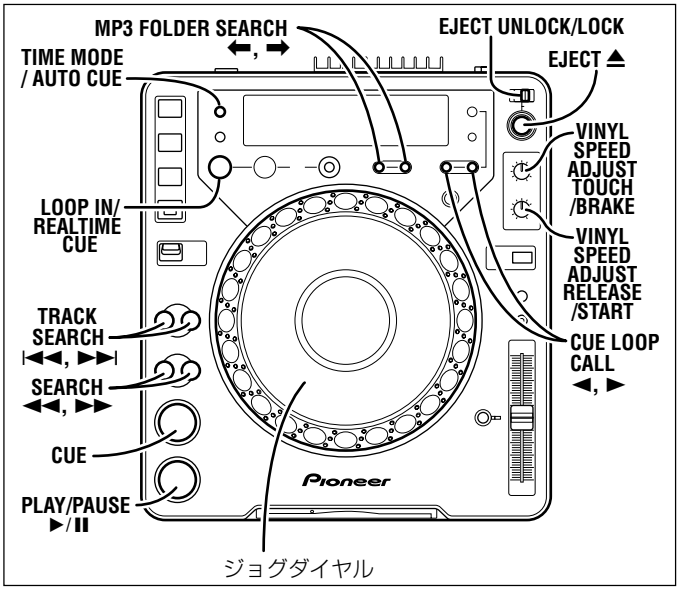
① 必ずCDプレーヤーの電源を切り、1分以上待ちます。

電源を切ってすぐに強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。

- ディスクが回転したままCDプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付きます。

② 必ず付属品のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。**付属のピンは本機の底面にはめ込んであります。**
付属品のピンを強制イジェクトホールに**根元まで**押し込むと、ディスクがディスク挿入口より5 mm～10 mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。

DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編



オートキュー機能

ディスクをセットした時とトラックサーチの時および曲のチェンジの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定(P. 15)を自動的に行う機能です。
10秒間探して見つからない場合は、トラックの頭をキューポイントに設定します。

● **オン／オフするには**
TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン／オフできます。
表示部のオートキューインジケーター(A.CUE)が点灯するとオンです。
- 電源をオフしてもAUTO CUEのオン／オフ状態は記憶されます。
- オートキューレベルを可変することができます。

■ オートキューレベルの可変

1. TIME MODE/AUTO CUEボタンを5秒以上押し続ける。
- 表示部に「A.CUE−60db」(初期状態の場合)と表示されます。

2. CUE LOOP CALLボタン(◀、▶)を押して値を変更する。
- −36 dB、−42 dB、−48 dB、−54 dB、−60 dB、−66 dB、−72 dB、−78 dBから選べます。
- TIME MODE/AUTO CUEボタンを押すか、15秒間放置するとレベル可変モードは解除されます。
- 電源をオフしても、設定レベルは記憶されます。

再生を始めるには

1. プレーヤーにディスクを入れる。
本機はディスクを高速回転させて高いパフォーマンスを得ています。このため、ディスクのローディングに数秒間を要します。

2. オートキュー機能オン時は、PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押す。
- 表示部の時間表示が点灯してから押してください。表示したトラックの無音部分を飛ばして、瞬時に再生を始めます。
- ジョグモードがVINYLのときは、再生速度がゆっくりと加速して定速になる場合があります(☞「再生を一時停止するには」)。

1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをします。キューインジケーター(CUEボタンの外のリング)が点灯し、PLAY/PAUSEボタンの外のリングが点滅して、再生待機状態になります。
PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押すと次曲の再生がスタートします。

オートキュー機能オフ時は、一曲目から再生が自動的に始まります。
- オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に再生を続けます。

再生を終了するには

1. イジェクトモード切換スイッチがUNLOCK位置のときは、EJECTボタン(⏏)を押す。
イジェクトモード切換スイッチがLOCK位置のときは、再生中にPLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押すかまたは、キューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して(バックキュー)からEJECTボタン(⏏)を押す。
- 再生を終了し、ディスクが出てきます。
- 本機にはストップボタンはありません。

レジューム機能

- イジェクトモード切換スイッチがUNLOCK位置のときに、誤ってEJECTボタンを押した場合でも、すぐに(表示部に「EJECT」が表示される以前に)PLAY/PAUSEボタンを押せば、EJECTボタンを押す直前の状態になります。ただし、この間の音声出力は停止します。
- ディスクのイジェクト後、再度同じディスクを挿入すると、イジェクトする直前の状態になります(ループを除く)。
- ディスクのイジェクト後、FOLDER SEARCHボタン(⬅、➡)やTRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)を押すと、レジューム機能は解除されます。

再生を一時停止するには

再生中にPLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押す。
- PLAY/PAUSEボタンとCUEボタンの外のリングインジケーターが点滅し、再生を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、ボタンの外のリングインジケーターが点灯し、再生を再開します。
- CDJモードでは、ポーズモード中も再生音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- VINYLモードでは、VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKEつまみの設定により、再生が一時停止するまでの減速スピードが変わります。右に回すとゆっくりと減速して止まります。
- VINYLモードでは、VINYL SPEED ADJUST RELEASE/STARTつまみの設定により、一時停止解除時に再生スピードが定速に達するまでの立ち上がりスピードが変わります。右に回すとゆっくりと加速して定速になります。
- ポーズ状態で100分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSEボタンを押せば再生を再開します。

早送り／早戻しをするには

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。
▶▶ボタンを押している間、早送りします。
◀◀ボタンを押している間、早戻しします。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみで早送り、早戻しできます。
- MP3の場合、再生する曲によっては早送り、早戻しの速さが遅くなる場合があります。

■ スーパー・ファースト・サーチ

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。
- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- サーチ速度はジョグダイヤルの回転速度で変化します。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみで早送り、早戻しできます。
- MP3の場合、再生する曲によっては早送り、早戻しの速さが遅くなる場合があります。

スキップするには

TRACK SEARCHボタン(I◄◄、►►I)を押す。

- 1回押す毎に、指定方向の曲にスキップします(再生中に前の曲にスキップするには、続けて2回I◄◄を押してください)。MP3のときは、指定された方向で最初に見つかったトラックにスキップし、同一フォルダ内のみがスキップの対象になります。CD-ROMディスクを挿入し、フォルダサーチをしなかった場合は、ルートディレクトリに入っているトラックだけがスキップの対象になります。ただし、ルートディレクトリにトラックがない場合は、フォルダの一番若い番号のトラックから再生します。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで続けて2回I◄◄を押すと最終曲にスキップします。MP3のときは、一番若い番号のトラックからバックすると、同一フォルダ内の最終トラックへスキップします。
- 最終曲から►►Iを押すと最初の曲(トラックNo.1)にスキップします。MP3のときは、最終トラックから進めると、同一フォルダ内の一番若い番号のトラックへスキップします。

■ スーパー・ファースト・トラックサーチ

TRACK SEARCHボタン(I◄◄、►►I)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速スキップ動作をするモードに入ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

フォルダーサーチするには(MP3のみ)

階層構造を持っているCD-ROMから選曲するときに使用します。

FOLDER SEARCHボタン(⬅、➡)を押す。

- 1回押す毎にフォルダーが指定方向に送られます。ルートディレクトリでは、フォルダー番号「00」、フォルダー名「ROOT」が表示されます。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 一番若いフォルダーからバックすると、最終フォルダーをサーチします。
- 最終フォルダーから進めると、一番若いフォルダーをサーチします。
- 再生可能なトラックのないフォルダー(空きフォルダー)は無視され、 次のフォルダーをサーチします。

■ スーパー・ファースト・フォルダーサーチ

FOLDER SEARCHボタン(⬅、➡)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルによってフォルダー番号を指定方向へ送ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。FOLDER SEARCHボタンの方向は無視されます。
- FOLDER SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

キューポイントの設定

キューポイントをメモリーしておくと、再生中にCUEボタンを押してキューポイントで再生待機状態にすることができます。

■ CDJモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して一時停止状態にする。

2. キューポイントの正確な位置を探す。

● フレームナンバーでキューポイントを決める。

1フレーム単位(75フレーム=1秒)で頭出しの位置が設定できます。
ジョグダイヤルまたはSEARCHボタン(◄◄、►►)を操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル1回転で135フレーム、SEARCHボタン(◄◄、►►)を押すと1フレーム、指定方向にフレームを送ります。

● 音声を聞いてキューポイントを決める。

ジョグダイヤルをゆっくり回して、再生を開始したい音声の直前まで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。

3. フレームナンバー、または音声が目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。

- 音声がミュートされ、表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアーされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定してある頭出しポイントに戻ります。

2. サーチボタン(◄◄、►►)を押して音出しポーズ状態にする。

3. 上記の「キューポイントの設定(CDJモードの場合)」の手順2、手順3を行う。

■ VINYLモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、ジョグダイヤルの天面を押さえるかPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して一時停止状態にする。

2. ジョグダイヤルの天面を押さえたまま回し、再生を開始したい音声の直前まで戻す。

3. 音声が目的の頭出しポイントになったら、ジョグダイヤルの天面を押さえたままCUEボタンを押す。

- 表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアーされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定してある頭出しポイントに戻ります。

2. 上記の「キューポイントの設定(VINYLモードの場合)」の手順2、手順3を行う。

- CDJモードと同様に、SEARCHボタン(◄◄、►►)で修正することもできます。

■ リアルタイムキュー

再生中、頭出ししたいポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。

- このポイントが新たなキューポイントとして記憶されます。

■ キューポイントを確認するには(キューポイントサンプラー)

キューポイントを設定後、CUEボタンを押し続ける。

- CUEボタンを押している間、頭出しした音を聞くことができます。
- キューポイントサンプラー中にCUEボタンを離すと、バックキューを行います。
- MP3の場合は、同一フォルダー内のみキューポイントサンプラーが可能です。

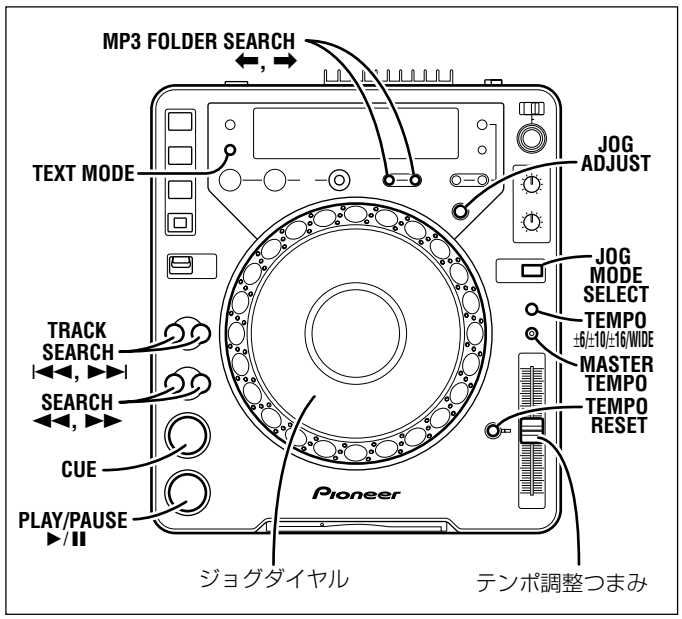
■ キューポイントに戻るには(バックキュー)

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定したキューポイントに戻ります。

2. PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。

- キューポイントから瞬時に再生します。
- MP3の場合は同一フォルダー内でバックキューが可能です。キューポイントは上書きしないかぎり、フォルダーサーチ後も記憶しています。



再生スピードを変えるには

テンポ調整つまみを前後にスライドする。

手前(+)に動かすと再生が早くなり、奥(−)に動かすと再生が遅くなります。

- 再生スピード(テンポ)の変化率が表示部に表示されます。
- 再生スピードを変えても音程を変えないで保つことができます。(☞次項「**マスターテンポをかける**」)。

■ テンポ調整範囲の選択

TEMPO ±6/±10/±16/WIDEボタンを押す。

押す度にテンポ調整つまみの可変範囲(±6 %/±10 %/±16 %/WIDE)が切り換わります。±6 %では0.02 %単位、±10 %では0.05 %単位、±16 %では0.05 %単位、WIDEでは0.5 %単位で調整できます。

- 可変範囲の設定値は表示部に表示されます。
- WIDEレンジ時の調整範囲は、

  CD再生時　　±100 %
  MP3再生時　　+70 % 〜 −100 %

  となります。
- 電源オン時は±10 %に設定されます。
- −100 %では再生が止まります。

■ テンポリセット

TEMPO RESETボタンを押す。

テンポリセットインジケーターが点灯し、テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ変化率が「0」(通常テンポ)になります。

- もう一度、**TEMPO RESET**ボタンを押すと解除されます(テンポ調整つまみの設定スピードに戻る)。
- 電源オン時はオフに設定されます。

マスターテンポをかける

再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。

MASTER TEMPOボタンと表示部の「**MT**」が点灯し、テンポ調整つまみでスピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。
- 電源オン時はオフに設定されます。

ジョグダイヤルの機能

1. 再生中に回す。(ピッチベンド)

(**JOG MODE SELECT**ボタンが**VINYL**の場合は、ジョグダイヤルの側面を操作してください。天面を押すと別の動作になります。)

- 回転させた分、加速(FWD+)・減速(REV−)します。リバース再生モードでは、加速(REV−)・減速(FWD+)になります。
- 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。

2. 再生中に回す。(スクラッチプレイ)

応用操作編の「**スクラッチプレイをするには**」をご覧ください。

3. ポーズ時に回す。(フレームサーチ)

ジョグモード(**CDJ/VINYL**)が**CDJ**の場合は音出しポーズになります。ジョグモード(**CDJ/VINYL**)が**VINYL**の場合は音無しポーズになり、ジョグダイヤルの回転スピードに応じたスピードでCDの音声を再生します。)

- 1フレーム単位でポーズ位置が移動します。
- ジョグダイヤルを1回転すると1.8秒分(135フレーム)のCD音声が再生されます。

4. 再生中またはポーズ時に回す。(スピン)

応用操作編の「**スピンをするには**」をご覧ください。

5. 再生中、サーチボタンを押しながら回す。(スーパー・ファースト・サーチ)

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押したままジョグダイヤルをサーチしたい方向に回すと、回転方向にさらに高速でサーチします。

- サーチ速度はジョグダイヤルの回転速度で変化します。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。**SEARCH**ボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- **SEARCH**ボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しできます。

6. トラックサーチボタンを押しながら回す。(スーパー・ファースト・トラックサーチ)

TRACK SEARCH(I◀◀、▶▶I)ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをトラックサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転量に従ってさらに高速なトラックサーチをすることができます。

- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。**TRACK SEARCH**ボタンの方向は無視されます。
- **TRACK SEARCH**ボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみ可能です。

7. フォルダーサーチボタンを押しながら回す(MP3再生時)。(スーパー・ファースト・フォルダーサーチ)

FOLDER SEARCH(⬅、➡)ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをフォルダーサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転量に従ってさらに高速なフォルダーサーチをすることができます。

- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。**FOLDER SEARCH**ボタンの方向は無視されます。
- **FOLDER SEARCH**ボタンを離すと、このモードは解除されます。

ご注意：

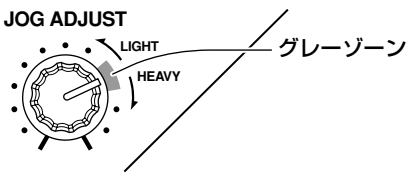
ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物をのせたり、強い力を加えないようにしてください。飲料などをのせないでください。こぼれて製品内部に入り、故障を起こすことがあります。

ジョグフィーリング調整機能

ジョグフィーリング調整ツマミを回すことにより、ジョグダイヤルを回転させるときの負荷を調整することができます。

JOG ADJUSTツマミを回す。

- 右に回すと負荷が重くなります。
- 左に回すと負荷が軽くなります。
- 目盛りのグレーゾーンに合わせると、CDJ-1000MK2と同等の負荷になります。



違う曲どうしをミックスする(つなぎ)

(例)　現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
- トリム、CHフェーダー、マスターVRを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。

1. DJミキサーのCROSS FADERつまみを左側(CH1側)にしておく。
- 曲Aがスピーカーから出ています。

2. プレーヤーCD2にCDをセットする。

3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(I◄◄、►►I)を押して曲Bを選ぶ。

4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。

5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
- スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。

6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。
① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近で**PLAY/PAUSEボタン**(►/❚❚)を押す。
- ジョグモード(**CDJ/VINYL**)が**CDJ**の場合は音出しポーズ状態になり、**VINYL**の場合は音無しポーズ状態になります。

② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。
③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2の**CUE**ボタンを押す。
- 無音になり、頭出しを完了します。

7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(►/❚❚)を押す。
- スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
- ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。

8. プレーヤーのTEMPOつまみを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Par Minutes)を合わせる。
曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のテンポ調整つまみを動かす。
- BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。

9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
- プレーヤーCD2はキューポイントでポーズ状態になります。

10. プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(►/❚❚)を押す。
- 曲Bがスタートします。

11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERつまみを徐々に右側に動かす。
- スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
- DJミキサーのCROSS FADERつまみが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

■ ロングミックスプレイ
BPMさえ合っていれば、CROSS FADERつまみが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

■ フェーダースタートプレイ
パイオニアのDJミキサーのクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。
さらに、CROSS FADERつまみを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

WAVE表示について

WAVE表示は曲の低音ビート(バスドラム等)の変化をグラフ表示するので、曲のブレイク部や終了部をあらかじめ知ることができます。
TEXT MODEボタンでWAVE表示にしたとき、1トラックを1曲分フルレンジ(100ポイント)として表示します。
- 再生曲が変わってからすべてのWAVEが表示されるまでには、しばらく時間がかかります。メモリーカードにWAVE表示を記憶すると、次回からすぐにWAVEが表示されます。☞ P. 21
- 低音ビートレベルの変化が少ない場合は、ブレイク部が正しく表示されないことがあります。
- 波形読み込み中にサーチ動作やポーズ動作が行われた場合は、正しく表示できません。
- MP3再生では、WAVEの先読み処理はできません。

TEXT表示について

TEXT MODEボタンでTEXT表示にしたとき、CD-TEXTの曲名／アルバム名／アーティスト名を表示します。
MP3再生時は、ID3タグの曲名またはID3タグが記録されていない場合はファイル名／ID3タグのアルバム名／ID3タグのアーティスト名を表示します。
- それぞれ48文字まで表示可能で、16文字を超える場合はスクロール表示になります。
- 表示できる文字は、アルファベット、数字および一部の記号です。
- 対応するテキストが無い場合は「**NO TEXT**」を表示します。

TEXT表示の曲名が選択されたときは、「♪」アイコンに続き曲名(MP3ではID3タグのタイトル名またはファイル名)が表示されます。
また、MP3の場合は曲名に続きビットレートを表示します。

♪ CDJ-1000MK3 【128 Kbps】

TEXT表示のアルバム名が選択されたときは、「 」アイコンに続きアルバム名が表示されます。

Pioneer

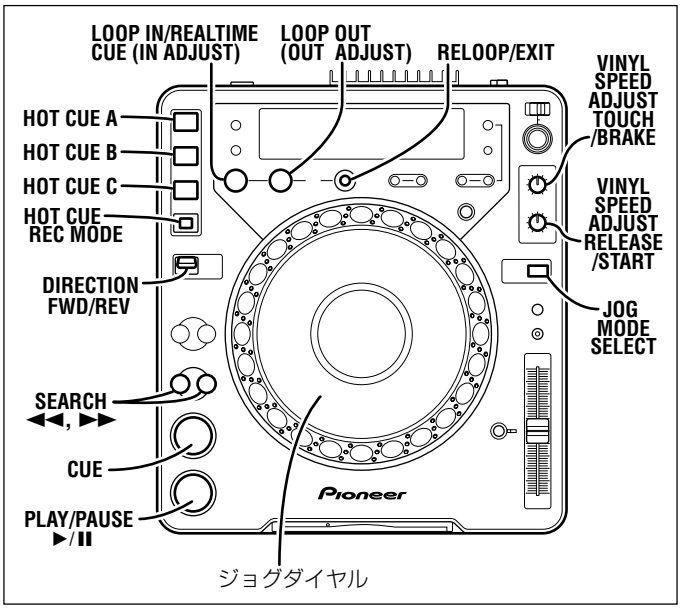
TEXT表示のアーティスト名が選択されたときは、「 」アイコンに続きアーティスト名が表示されます。

Pioneer PRO DJ

MP3でフォルダーサーチを行うとサーチ中にフォルダー名を表示します。

Pioneer DJ

応用操作編



スクラッチプレイをするには

ジョグモードをVINYLにすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じた再生ができます。

1. JOG MODE SELECTボタンを押して、VINYLインジケーターを点灯する。
2. 再生中にジョグダイヤルの天面を押す。
   - 再生が減速されて停止します(停止するまでの減速スピード(応答特性)は別途設定できます)。再生が減速されて停止する前にジョグダイヤルを回すと、減速途中で音声が停止し、手順3のジョグダイヤルの回転に応じた再生になります。
3. ジョグダイヤルを再生したい方向と速さで回す。
   - ジョグダイヤルの回転スピードと回転方向に応じたスピードと方向で再生されます。
4. ジョグダイヤルの天面から手を離す。
   - 再生が加・減速されて元の状態に戻ります(再生が元の状態に戻るまでの加・減速スピード(応答特性)は別途設定できます)。

■ ジョグダイヤルの天面を押した時に、再生が減速して停止するまでの時間を設定する

VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKEつまみを回す。

- 再生が停止するまでの減速スピード(応答特性)が調節できます。
- VINYLモード時にPLAY/PAUSEボタンを押して一時停止するときの、減速スピードの調整と共通になります(☞P.14)。

■ ジョグダイヤルの天面から手を離した時に、再生が元の状態に戻るまでの時間を設定する

VINYL SPEED ADJUST RELEASE/STARTつまみを回す。

- 再生が元の状態に戻るまでの加・減速スピード(応答特性)を調節できます。
- VINYLモード時にPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して再生を再開するときの、立ち上がりスピードの調整と共通になります(☞P.14)。

スピンをするには

VINYLモードでプレイ中に、ジョグダイヤルの天面を押すか、PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押してポーズにした後、ジョグダイヤルを早く回すと、ジョグダイヤルから手を離しても回転に応じたスピードと方向で再生されます。

ブレーキをするには

- VINYLモードでプレイ中にPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押してポーズにすると、VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKEつまみに応じた速度で音声が止まります。
- もう一度PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押してプレイにすると、VINYL SPEED ADJUST RELEASE/STARTつまみに応じた速度で音声が立ち上がります。

ループ再生をするには

■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して再生する。
2. 再生中または一時停止中に、ループインポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。
   - あらかじめ記録してあるキューポイントをループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
3. 再生中、ループアウトポイントでLOOP OUTボタンを押す。
   - インポイントからアウトポイント間でループ再生を開始します。
   - MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックでのみループ設定が可能です。
   - ループが設定されるとRELOOP/EXITボタンが点灯します。

■ ループを抜け出す(解除する)には

ループプレイ中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

■ ループインポイントを変えるには

1. ループ再生中に、LOOP IN/REALTIME CUE (IN ADJUST)ボタンを押す。
   - 表示部にインポイントの時間が表示され、LOOP INボタンは速い点滅に、LOOP OUTボタンは消灯に変わります。
2. SEARCHボタン(◄◄、►►)を押す、またはジョグダイヤルを回す。
   - 1フレーム単位でループインポイントが移動します。インポイントの修正可能範囲は±30フレームまでで、アウトポイントより前方です。
   - MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックのみでループ修正が可能です。
   - リバース再生中やスクラッチ中に、ループインポイントの修正はできません。
   - LOOP IN/REALTIME CUEボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループプレイに戻ります。

■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループプレイ中に、LOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンを押す。
   - 表示部にアウトポイントの時間が表示され、LOOP OUTボタンは速い点滅に、LOOP IN/REALTIME CUEボタンは消灯に変わります。
2. SEARCHボタン(◄◄、►►)を押す、またはジョグダイヤルを回す。
   - 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
   - ループアウトポイントはループインポイントの前には移動できません。
   - MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックのみでループ修正が可能です。
   - リバース再生中やスクラッチ中に、ループアウトポイントの修正はできません。
   - LOOP OUTボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループプレイに戻ります。

■ 再度ループに戻るには(リ・ループ)

ループ解除後、再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- 前に設定したループインポイントに戻り、ループプレイを再開します。
- MP3再生時は、違うフォルダーのループへはリ・ループできません。
- RELOOP/EXITボタンが点灯していない時はリ・ループできません。

ホットキューをするには

あらかじめ3つ(A、B、C)までのホットキューポイント(ループ情報を含む)設定しておくことにより、瞬時にそのポイントから再生できます。

■ ホットキューポイントの設定

1. HOT CUE REC MODEボタンを押して、HOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを赤色に点灯させる。

2. 再生中またはポーズ中に設定したいところで記録したいボタン(A、B、C)を押す。

- 押されたボタンが2秒間赤色点滅し、位置情報と再生データの先頭部分を記録します。ループ再生中に押すと、再生中のループの情報が記録されます。再生方向は記録されません。
- 記録中は他のHOT CUEボタンへの登録、キューポイントの入力、サーチ、スクラッチはできません。
- メモリーカードが挿入されている場合は、記録内容がメモリーカードに自動的にバックアップ記録されます。☞ P. 20
- スクラッチ動作中に記録を行うと、再生が一旦停止する場合があります。

■ ホットキューの開始

1. HOT CUE REC MODEボタンを押して、HOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを緑色または橙色に点灯させる。

- ホットキューポイントが記録されているボタンは、緑色に点灯します。
- ループ情報が記録されているボタンは、橙色に点灯します。
- ホットキューポイントが記録されていないボタンは点灯しません。

2. 再生中またはポーズ中またはキュースタンバイ中にスタートポイントを設定したボタン(A、B、C)を押す。

- そのボタンに記録されている情報で瞬時に再生します。
- HOT CUEボタンにループ情報が記録されているときは、瞬時にループ再生を行います。
- HOT CUEボタンに記録されたループ情報は、LOOP INボタンとLOOP OUTボタンで設定したループとは独立した別のループであり、RELOOP/EXITボタンによるループ再生の解除や、OUT/OUT ADJUSTボタンによるループアウトポイントの修正も可能で、修正はHOT CUEボタンに記録されている情報に対して直接行われます。
- MP3再生時は、フォルダーをまたいでのホットキュー再生は行えません。
- CDまたはメモリーカードを挿入したときに、以前にメモリーカードに記録されたホットキューポイントを復帰することができます。☞ P. 21

リバース再生をするには

DIRECTION FWD/REVスイッチをREV位置(手前)にする。

REVインジケーターが点灯し、逆方向に再生します。

- ジョグダイヤルの回転による演奏の加・減速が逆向きになります。
- リバース再生中は、新たなループ作成、ループアウトポイントの修正はできません。
- トラックサーチ、ループ等を行うと、1〜2秒間音声メモリー書き込み表示(ジョグダイヤル表示部)が点滅して、スクラッチ／リバースの操作が行えないことがあります。
- MP3の場合、フォルダーをまたいでのリバース再生は行えません。
- MP3の場合、再生する曲によってはリバース再生がすぐに始まらない場合があります。

フェーダースタートプレイについて

本機のコントロール端子(CONTROL)とパイオニアのDJミキサーのコントロール端子(CONTROL) を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレーヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレーヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレーヤーをキューポイントまで戻す(バックキューする)ことができます。(接続方法は8ページを参照してください。)

2台のプレーヤーを使ったリレープレイ

本機および他のCDJシリーズのCDプレーヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続するとリレープレイが可能になります。☞ P. 9

- 2台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします(表示部のA.CUEインジケーターが点灯)。
- オーディオミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1. 先に再生するプレーヤーの再生を開始する。

2. 再生中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に再生を開始する。

3. 始めに再生していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。

- この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互再生ができます。
- 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と再生することができます。
- 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。
  ☞ P. 15「キューポイントの設定」参照

ご注意

- **2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じオーディオミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。**
- **再生中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが演奏をはじめることがあります。**
- **フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。**

メモリーカードを使った操作

■ メモリーカードの使い方

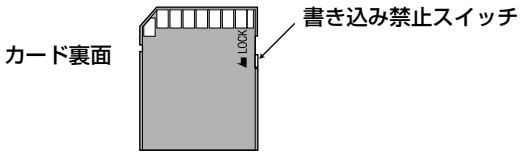
本機は、ディスク識別情報、登録されたキューポイントとループポイント情報、ホットキュー情報をSDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)に記憶できます。

★ 使用するSDメモリーカードは
「SD Memory Card Specifications Part2 FILE SYSTEM SPECIFICATION Version1.0」に沿ってフォーマットされていなければなりません(SDメモリーカードはメーカーからの出荷時点で上記規格で標準フォーマットされています)。フォーマットされていないメモリーカードを挿入すると「UNFORMAT」と表示され、使用できません。

★ PCやデジタルカメラ等でフォーマットされたカードは、使用できない場合があります。

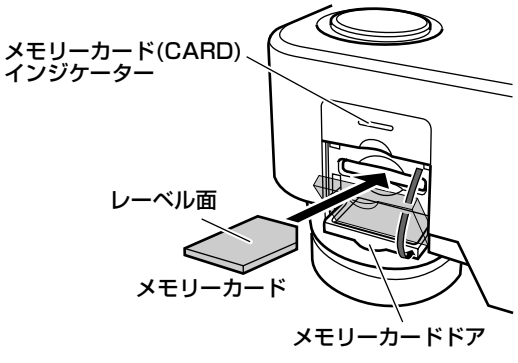
★ CDJ-1000、CDJ-1000MK2でフォーマットされたマルチメディアカード(MMC)では以下の制限事項があります。
- MP3の情報は記録できません。
- ホットキューに設定したループ情報は記録できません。
- PCによるコピー、バックアップ等はできません。
- ループポイントを記録したときは、1つで2ポイントのエリアを使用します。
- 本機でフォーマットすることはできません。

大切なデータを保護するために(SDメモリーカード)



- 書き込み禁止スイッチを「**LOCK**」にします。新たに記憶させるときは解除してください。

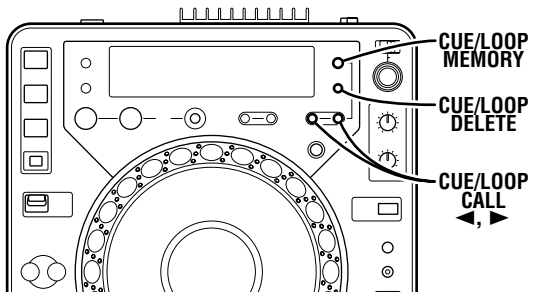
■メモリーカードの入れ方



メモリーカードドアを開け、メモリーカードはレーベル面を上に、切り欠きを先にして、水平にゆっくりと、止まるまで差し込み、メモリーカードドアを閉じてください。
「**SD CARD**」(SDメモリーカード規格に準拠したカード時)または「**CDJ CARD**」(CDJ-1000、CDJ-1000MK2でフォーマットされたカード時)表示後に、記録されているディスク枚数が表示されます。

●取り出すとき
メモリーカードドアを開け、**CARD**インジケーターが消灯してから、メモリーカードを一度押し込んで戻ってきた後、まっすぐ、ていねいに引き抜いてください。

ご注意
- CARDインジケーターが点滅中にカードドアを開けたり、電源を切らないでください(記憶データが壊れる恐れがあります)。
- メモリーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。また、静電気や電気ノイズの発生しやすい環境で、使用・保管しないでください。
- メモリーカードは衝撃や静電気により壊れることがあります。取り扱いには注意をお願いします。大切なデータは定期的に複製を作ることをおすすめします。☞P.21
- お客様の記録されたデータの損失ならびに、その他の直接・間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



メモリーカードに記憶するには

- ディスク1枚あたりキュー／ループポイントが100ポイントまで記憶できます。100ポイント記憶された状態で、さらにポイントを記憶しようとすると「**POINT FULL**」と表示され、記憶できません。
- カードの空き領域が不足した場合は、「**CARD FULL**」と表示されます。
- カードが書き込み禁止(LOCK)の場合は「**CARD PROTECTED**」と表示されます。

■ キューポイントを記憶する

1. オートキュー機能またはCUEボタンでキューポイントを入力する。
2. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部にキューポイントの位置情報および「**CARD MEMORY**」と表示され、キューポイントがメモリーカードに記憶されます。
   - メモリーカードが装着されていない場合は「**NO CARD**」と表示されます。
   - メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合は「**CLOSE CARD DOOR**」と表示されます。

■ ループポイントを記憶する

1. ループインポイント／ループアウトポイントを入力してループ再生する。
2. ループ再生中にCUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部にキューポイントの位置情報および「**CARD MEMORY**」と表示され、ループイン／ループアウトポイントがメモリーカードに記憶されます。
   - メモリーカードが装着されていない場合は「**NO CARD**」と表示されます。
   - メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合は「**CLOSE CARD DOOR**」と表示されます。

■ ホットキューポイントA、B、Cの記憶

ホットキューポイントA、B、Cは、自動的にメモリーカードに記憶されます。

■ WAVE表示

自動的にSDメモリーカードに記憶されます。

記憶した内容の呼び出し

■ 記憶したキュー／ループポイントを呼び出す

メモリーカードを装着し、CUE/LOOPポイントが記憶されていると、カレンダー表示部およびプレーイングアドレス表示部に赤色で表示されます。

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - CALLボタン(►)押すと、ディスクの初めの方から順番にCUE/LOOPポイントが呼び出され、CUE/LOOP INポイントで待機します。
2. PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。
   - 再生／ループ再生を開始します。

■ 記憶したホットキューポイントを呼び出す

ホットキューポイントA、B、Cは、自動的にメモリーカードに記憶されます。ディスク挿入時に記憶されている場合は、**HOT CUE**ボタンの**A**、**B**、**C**が緑色または橙色で点滅します。メモリーされているホットキューポイントをコールする場合は**A**、**B**、**C**ボタンを押してください。緑色または橙色の点滅が点灯に変わります(コールする場合、瞬時に音は出ません)。コールする必要がない場合は、**HOT CUE REC MODE**ボタンを押してください。インジケーターが赤色に変わり、ホットキューポイントが設定できる状態になります。(メモリーカードにメモリーされているホットキューポイントをコールしたい場合は、ディスクまたはメモリーカードを一度取り出し、再び挿入して**A**、**B**、**C**ボタンが点滅しているときにコールしてください。)

■ WAVE表示

以前にWAVE表示した同じ曲を再生すると、自動的に記憶されているWAVE表示が呼び出されて表示されます。

メモリーカードに記憶した内容を消去するには

■ 個々のキュー/ループポイントの記憶を消去する

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - CALLボタン(►)押すと、ディスクの初めの方から順番にCUE/LOOPポイントが呼び出され、CUE/LOOP INポイントで待機します。
2. 消去したいキュー/ループポイントでCUE/LOOP DELETEボタンを押す。
   - 表示部に「DELETE」と表示されて、指定したキューポイントまたはループポイント情報がメモリーカードから消去されます。

■ ディスク単位でキュー/ループポイントの記憶を消去する

1. メモリーカードから情報を消去したいディスクを装着する。
2. CUE/LOOP DELETEボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「DISC DELETE? PUSH MEMORY」とスクロール表示されます。
3. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 装着されているディスクに関するキュー／ループ情報が、メモリーカードから消去されます。
   - CUE/LOOP MEMORYボタン以外のボタンを押すと、デリートモードが解除されます。

■ メモリーカードの記憶を全て消去する

1. ディスクを装着していない状態で、CUE/LOOP DELETEボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「ALL DELETE? PUSH MEMORY」とスクロール表示されます。
2. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - メモリーカードから全ての情報が消去されます。
   - CUE/LOOP MEMORYボタン以外のボタンを押すと、デリートモードが解除されます。

メモリーカードを複製する

1. ディスクとメモリーカードを装着していない状態で、CUE/LOOP MEMORYボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「COPY MODE」「CARD A IN」とスクロール表示されます。
2. コピー元のメモリーカードを装着する。
   - 表示部に「READING」と表示され、数分後に「CARD B IN」と表示されます。
3. コピー元のメモリーカードを取り出し、コピー先のメモリーカードを装着する。
   - コピー先のメモリーカードは、予め内容を消去しておいてください。
   - 表示部に「WRITING」と表示され、数分後に「CARD A IN」と表示されます。
4. コピー先のメモリーカードを取り出し、コピー元のメモリーカードを装着する。
   - 表示部に「READING」と表示され、数分後に「CARD B IN」と表示されます。
5. 手順3、4を繰り返し行う。
   - 表示部に「COMPLETE」と表示されたら、複製は完了です。
   - 32 MBのSDメモリーカードでは最大4回、手順3と4を繰り返す必要があります。
   - コピー先のメモリーカードの容量が不足していると「CAPACITY ERROR」と表示されます。

- お手持ちのPCにメモリーカードリーダー／ライターがある場合は、PCを使ってSDメモリーカードを複製することができます。(CDJ-1000、CDJ-1000MK2でフォーマットされたMMCはPCでは複製できません。)
  ☞ P. 20(メモリーカードのフォーマットに関する注意)

キュー、ループポイント登録時の表示

表示部への表示	内　容
「CARD MEMORY」が表示される	キューポイントまたはループポイントが正しくメモリーカードに記録されました。
「CANNOT MEMORIZE ON THIS CARD」が表示される	MP3再生時、CDJ-1000またはCDJ-1000MK2でフォーマット・記憶したカードを装着して、登録操作を行った場合に表示されます。ポイント情報は記録されません。
「CARD FULL」が表示される	メモリーカードの空き領域が不足時に表示されます。ポイント情報はメモリーカードに記録されません。
「CARD PROTECTED」が表示される	メモリーカードが書き込み禁止状態(LOCK)の時に表示されます。ポイント情報はメモリーカードに記録されません。
「INTERNAL MEMORY」表示後、「NO CARD」が表示される	メモリーカードが装着されていない場合に表示されます。
「INTERNAL MEMORY」表示後、「CLOSE CARD DOOR」が表示される	メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合に表示されます。ドアを閉めてから再度登録してください。
「UNFORMAT」が表示される	SDメモリーカード規格に準拠していないカードまたはCDJ-1000、CDJ-1000MK2形式(MMC)でフォーマットされていないカードが装着されている場合に表示されます。ポイント情報はメモリーカードに記録されません。
「CARD ERROR」が表示される	メモリーカードが壊れていると判断した場合に表示されます。
「POINT FULL」が表示される	キューポイントとループポイントの登録総数が、すでに100ポイント記録済みの場合に表示されます。

キューポイント情報、ループポイント情報、ホットキュー情報、WAVE情報などを記録させる場合は、メモリーカードを挿入してください。メモリーカード未挿入状態では、電源を切ったり、ディスクを取り出すと情報は消去されます。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われがちます。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。
下の項目をチェックしても直らない場合はお買上げの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）へご連絡ください。

症　状	考えられる原因	処　置
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	● 電源コードがつながっていない。 ● イジェクトモード切換スイッチが**LOCK**位置になっている。	● 電源コンセントへつなぐ。 ● ポーズ状態またはキュースタンバイ状態にしてから**EJECT**ボタンを押す。 ● イジェクトモード切換スイッチを**UNLOCK**位置にしてから**EJECT**ボタンを押す。
ディスクを入れても再生が始まらない。	● オートキュー機能がオンになっている。	● **TIME MODE/AUTO CUE**ボタンを1秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。
再生をはじめてもすぐに停止してしまう。	● ディスクの表と裏を逆にして装着している。 ● ディスクのくもりなど。	● レーベル面を上にして装着する。 ● ディスクのくもりをふき取る。
MP3を再生できない。	● フォーマットが合わない。	● 「MP3再生について」（7ページ）をご覧ください。
MP3でサーチできない。	● MP3で別のフォルダー内へサーチ（早送り／早戻し）しようとした。	● MP3のサーチは同一フォルダー内のみで可能です。
音が出ない。	● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。 ● オーディオミキサーを正しく操作していない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。	● 正しく接続する。 ● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● **PLAY/PAUSE**ボタン（►/❚❚）を押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	● 出力コードが正しく接続されていない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。	● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。再生が中断してしまう。	● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れをふき取る。
オートキュー機能をオンにしていて、トラックサーチが終了しない。	● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。（10秒以内にサーチできない場合、トラックの頭がキューポイントに設定されます。）	● **TIME MODE/AUTO CUE**ボタンを1秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。
再生中に**CUE**ボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	● キューポイントを設定していない。 ● MP3の場合、再生中のフォルダー内にキューポイントがないとバックキューできない。	● キューポイントを設定する。（15ページ参照）
LOOP OUTボタンを押してもループプレイにならない。	● キューポイント（スタートポイント）を設定していない。 ● MP3の場合、再生中のトラック内にループインポイントがないとループできない。	● キューポイントを設定する。
ジョグダイヤルが希望の機能と違う動作をする。	● ジョグモード（**VINYL/CDJ**）が違う。	● **JOG MODE SELECT**ボタンを押して、希望の機能のジョグモード（**VINYL/CDJ**）を選ぶ。
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	● 本機が影響している。	● 本機の電源を切るか、テレビから離す。
電源ONの状態でディスクが停止している。	● ポーズ状態で100分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。 ● ディスクの最終曲が終了後、「END」表示のまま100分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。	● **PLAY/PAUSE**ボタン（►/❚❚）を押すと演奏を開始します。また、**EJECT**ボタン（▲）を押すとディスクが出てきます。
キューポイントメモリーが記録できない。	● メモリーカードが挿入されていない。 ● メモリーカードが書き込み禁止設定となっている。 ● MP3でCDJ-1000、CDJ-1000MK2で記録したマルチメディアーカードが挿入されている。 ● SDメモリーカードが正しくフォーマットされていない。 ● メモリーカードドアが開いている。	● メモリーカードを挿入する。 ● メモリーカードを書き込み可能とする。 ● CDJ-1000、CDJ-1000MK2で記録したルチメディアカードはMP3が記録できません。 ● SD メモリーカード規格に準拠した形式でフォーマットされたメモリーカードを挿入する。 ● メモリーカードドアを閉じる。

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク（パーシャリーディスク）の再生はできません。
- 本機は一般の12 cmディスクおよびアダプターを装着した8 cmディスク以外の異形ディスクの再生はできません。（故障・事故の原因になることがあります。）
- 本機でアダプターを装着した8 cmディスクを使用すると、12 cmディスク使用時に比べてスクラッチ、リバース等の動作スピードが低下することがあります。本機はディスクを高速で回転して高いパフォーマンスを得てますが、アダプターを装着した8 cmディスクの場合に安全のために回転速度を下げるためであり、故障ではありません。
- 本機で測定したBPM値が、CDの記載値や当社のDJミキサー等と異なる場合がありますが、これはBPMの測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- CD-R/RWディスクの場合、記録品質によりパフォーマンスが低下することがあります。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買上げの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）へご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E−72 01	TOC READ ERROR	TOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 →ディスクを交換する。
E−83 01 E−83 02 E−83 03	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	ディスクが汚れている。 →ディスクをクリーニングする。 他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
E−83 04	MP3 DECODE ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	MP3フォーマットに従っていない。 →MP3フォーマットに従ったディスクに交換する。
E−83 05	DATA FORMAT ERROR		
E−91 01	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	ディスク挿入部に異物が入っている。 →異物を取りのぞく。

保証とアフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

● 保証期間について

保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。

● 次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● 故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

本書の「故障？ちょっと調べてください」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所 ・ お名前 ・ お電話番号
- 製品名：コンパクトディスクプレーヤー
  型番：CDJ-1000MK3
  お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときは

お買い求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

メモリーカードに記録されたデータについて

メモリーカードの取り扱いについては、お客様の管理の元で定期的に複製を作ることをおすすめします。
万一、本機やメモリーカードの不都合または静電気など外的要因などによってメモリーカード内のデータが破壊・消失した場合、データの補償やそれに付随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理を依頼される場合は、取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名　②ご購入日　③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

<下記窓口へお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

■ テクニカルサポートセンター（フリーダイヤル）
受付　月曜～金曜　10：00 ～ 18：00、 土曜・日曜・祝日　10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00　（弊社休業日は除く）

▽ DJ機器のご相談窓口　電話（フリーダイヤル）　**0120-545-676**
ファックス　**03-3763-9503**

▽ インターネットホームページ　*http://www.pioneer.co.jp/support/index.html*
※ 商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

■ 部品受注センター
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00、 土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　**0120-5-81095**
一般電話　**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイヤル）　**0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

■ 修理受付センター（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 19：00、 土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話　**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイヤル）　**0120-5-81029**

▽ インターネットホームページ　*http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html*
※ インターネットによる修理受付対象品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります。

■ 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　**098-879-1910**
ファックス　**098-879-1352**

愛情点検

長年ご使用の製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- ◆ 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ◆ 電源コードにさけめやひび割れがある。
- ◆ 電源が入ったり切れたりする。
- ◆ 本体から異常な音、熱、臭いがする。

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社修理受付センターに点検（有料）をご依頼ください。

© 2005 パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<05L00000>　Printed in　<DRA1409-A>